

# 福祉のかけ橋

井波町南山見地区社会福祉協議会



地域のぬくもり

南山見地区町内会長  
代表 箭原健二郎

日本は、世界に類例を見ない早さで超高齢化社会を迎えつつあります。私たちは、誰も元気で長生きしたい、そして、一人になっても或いは身体が不自由になっても、長年住み慣れた所で、皆んなと仲良く、ふれ合いながら暮らしたいと思っています。

今は元気でも年を重ねて行くうちに目や耳、手足などハンディキャップを負う日がいつ訪れるかも知れません。これからの時代は、だれもが健康で生き生きと、心豊かに安心して暮らすためには、家族や行政・福祉団体だけに頼る福祉ではなく、地域の人々が総ぐるみで支え合う、助け合う、福祉が必要です。

そして、お年寄りや子供たち、また、障害をもった人達と日常生活のあらゆる場面で一緒にふれ合い、語り合い、困っている人を見かけたら、声を掛け、手を差し伸べるだれかが必ずそばにいる、そんな町を皆でつくりましょう。

富山県参加型福祉社会  
推進パイロット事業

南山見地区区社協を指定

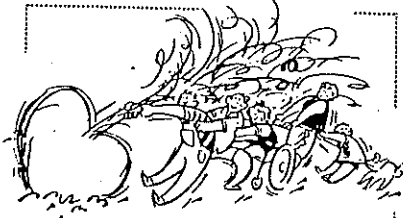
南山見地区社協は、昭和六二年に設立されて以来、福祉事業の推進に努めて来ました。

平成元年に南山見地区の福祉事業を充実強化するため、県の地域総合福祉活動グループ設置事業の指定を受け活動して来たところでありました。この指定期間は終了しましたが、今年度も、更に事業継続のため見出しのパイロット事業（2カ年）の指定を受け福祉事業を推進することになりました。

これは従来からの活動の継続的実施を図るとともに、住民の積極的な福祉活動への参加と、互いに支えあう体制づくを促進するためのもので、少なくとも、次の事業を実施する事とされています。

- ①福祉・保健・医療等サービスニーズ対応ケース検討会
- ②一人暮らし老人等の生活支援

- ③ 婦人会・青年団・食改・ボランティア等との連携福祉活動
  - ④ 児童の地域福祉活動への参加
  - ⑤ 住民の福祉活動への関心、理解と参加促進
  - ⑥ 広報紙発行
- この事業達成のため、積極的なご支援とご協力を、お願いします。



かぶらの種子を蒔きました  
かぶらが大きくなりました。じいさんが引張っても、ばあさんが引張っても、抜けません。隣の嫁さんも車椅子のうちゃんも引張って、やっつと抜きました。

金沢市富樫地区社協  
視察で感じたこと

南山見地区の福祉事業推進の為  
先進地金沢市富樫地区社協の福祉  
事業を視察させて頂きました。

富樫地区社協の事務局に専任の職員が一名おられ、六十五才以上の一人暮らし老人の配食サービスも月一回で個人負担金は二百円です。ボランティアの集いの組織も立派に出来て活躍されていますが、若い方の参加が少なく御苦労が伺われました。

平成四年にボランティアの集いに厚生大臣賞、全国社会福祉協議会長賞も受賞されました。

越中屋会長さんは、絵、音楽、ダンス等を通じ楽しい雰囲気の中で生きがいを持たせ、福祉活動を推進されていました。私達も今後の参考にして頑張りたいと思います。

谷 山本綾子

ご寄付ありがとうございました

金 五、〇〇〇円 山崎乙次郎様

敬老の集い「合同ミニ託老所」  
南山見公民館長様外六名様  
ご協力ご芳情ありがとうございました

### 南山見地区合同ミニ託老所 第5回敬老の集い

ご招待八十才以上高齢者

高齢者の健康と長寿を祝い、九月二十三日南山見公民館で合同ミニ託老所を開催しました。この日は、台風が心配された日でしたが、朝の小雨程度ですぐ晴れ爽やかな秋日和となりました。ご招待高齢者は八十四名で、五十一名の参加申し込みがあり、元気よくご出席下さいました。



敬老の集い

この日は、南山見公民館長さんを始め、多数のご来賓各位をお迎えして、盛大に開催できたことを感謝しています。

### プログラム

◇午前の部（十時三十分）

講話「神道について」

井口神明宮宮司 井頭克彦氏

◇午後の部

敬老の集い

最高齢者へ祝状・記念品贈呈

男性 田村彦三郎様 九七才

女性 高橋 ユキ様 九三才

感謝状 山崎乙次郎様 功労者

◇余興 踊り・手品など八景

◎傘平吉村者以上高齢者

藤瀬 高橋ユキ 田村なを 松

田美雪 前川みゆき 前川きくい

前川かね 前川しの 前川ツヨ 山

田助治 田中孝一 武田久太郎 田

村彦三郎 松田キヨイ 前川ミサ

田中たまき 田村緑 長田助太郎

長田たつ子 長田為二 長田清

吉田助義 吉田あや子 山本きそ  
山本みさ 吉田まち 吉田つやを

狩野しげ 谷川太一郎

林はる 朝倉チヨ 亀田

なを 波谷尚次 波谷トメ子

銅花子 箭原千代 箭原要吉 箭

原成子 池田豊作 梅村

シナ 江守ヒサ子 福村きよ前

田みよ 太刀武雄 武田はな

谷田ヨリ 高瀬浄泉 前田ひな

前田幸作 前川美登里 山本幸

吉 山本よしい 箭原みゆき 小橋

綴 池田きくい 小橋義雄 小橋

一枝 岩崎幸作 岩崎弥作

岩田太一郎 岩田しの 松井作太

郎 箭原はる 島綾子 原

田志の 前川みつい 山崎花子

横江はの 池田源郎 川縁は

る 倉島寿美子 沢田きく 沢田

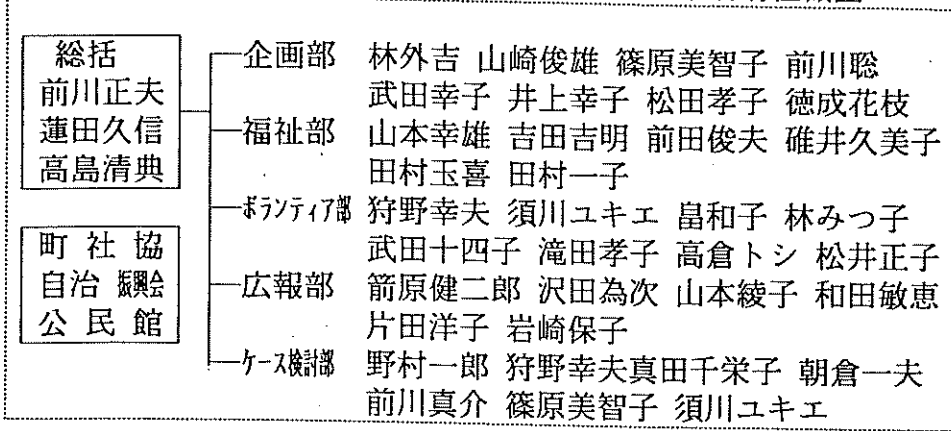
なを 真田タガ 高島与之 高島

みよ 高田シゲ 富島きみ 富田

くめ 富田はる 徳成みよ 宮島美

久村松清三郎 山口美雄 酒谷ふて 中村はつえ

富山県参加型福祉社会推進パイロット事業活動組織図



ふる里の発展を希い  
 『村長日記之碑』建立

秋晴れの九月二日連代寺矢於留神社前林地に、町出身の岩倉政治先生の作品『村長日記』の文学碑が竣功除幕されました。

この村長日記のモデルは大正十五年から昭和十六年一月に亡くなられるまで、南山見村長として活躍された、故小橋文郎氏とされています。

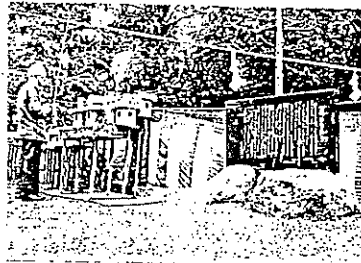
当時、農村恐慌等で打ちひしがれていた「小寒村」南山見の更生復興・産業発展のために、村長を先頭に村民が心を一つにして、幾多の災害にもめげず立ち上がり戦時の苦しい環境の中から、用水や耕地整理・産業組合・学校の整備などに必死の努力を重ねて行かれた苦闘の歴史でもあります。

私達も、遙か少年のころ、世界地図のような田圃が長方形に、オンボロ体操場が郡内一番の立派な体育館に改築、毎日給食(副)が

出るなど、村の近代化に目を見はりました。

今日私達は、更に近代化された美田を一望しながら、この先達の貴い努力と情熱に、頭の下がる思いがします。

南山見公民館長 朝倉一夫



玉串を捧げられる  
 作家 岩倉政治先生

号数	第九号
発行	平成7年十月一日
所在	井波町川原崎一五五 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協